

「歩行者空間デザインと道路交通評価手法」セミナーのご案内

近年のライフスタイルの変化に伴い、人々は移動空間に効率性を求めるだけでなく、快適さやわかりやすさといった側面にも注目するようになってきました。今回、英国を中心に、欧州で利用されている移動空間デザイン手法「SpaceSyntax」によるビジネスを展開する Tim Stonor 氏をお招きし、その活用事例をご紹介します。あわせて、道路交通シミュレーションの歩行者空間デザインに関連した適用事例もご紹介し、歩行者と車両の共存を目指した空間デザインの評価技術について、一緒に考える機会を設けました。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日 時 平成 16 年 5 月 27 日(木)
13:30 ~ 15:00

場 所 インテリジェントロビー・ルコ
C 会議室
東京都新宿区揚場町 2-1 軽子坂 MN ビル 1 階
(最寄り駅：地下鉄飯田橋駅 B4b 出口すぐ)

主 催 (株)アイ・トランスポート・ラボ

参加費用 無料

定 員 15 名 (申し訳ありませんが、定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます)

参加申込 5 月 25 日(火)までに へご連絡ください。
(株)アイ・トランスポート・ラボ

E-mail: itl@i-transportlab.jp, Tel/Fax: 03-5261-3077 (Fax 兼用)



プログラム (各 40 分程度)

1. 戦略的空間デザイン手法「SpaceSyntax」の紹介

Tim Stonor : 英 Space Syntax Limited 社 代表取締役

< 講演内容(英語講演) >

スペース・シンタクスは、民間、公共の機関に対して独自の知的ツールを用いた空間の分析・デザイン提案を行う、国際的なコンサルタント会社です。建築や都市の空間がどのように機能しているかをより深く理解するため、その空間における人々の行動のパターンを観察し、そのパターンに影響を与えている要素を客観的なデータを用いて浮き彫りにしていく、というのが、私たちのアプローチです。都市の再生デザイン、歩行者空間の機能の適正化、賑わいのある商業空間プラン、機能的なオフィスのレイアウト、犯罪を起こしにくい住宅地のプラン、などの広範囲において、戦略的デザイン、現況評価と変更後の将来予測などのサービスを提供しています。講演では、ロンドン・トラファルガー広場再開発など、英国での主要プロジェクトの事例を交えながら、最先端の分析技術・空間デザイン手法についてご紹介します。



analyse

observe

predict

2. 歩行者空間との共存のための道路交通シミュレーション活用事例

堀口良太 : (株)アイ・トランスポート・ラボ 代表取締役

< 講演内容 >

現代社会は、少なからず道路交通の恩恵を受けており、歩行者空間をデザインする場合でも、その道路交通への影響を定量的に把握し、両者の質のバランスを考えなければならない。これは、往々にして、立場や主張が違う人々の間での問題につながるため、両者が対話するためのツールとしての道路交通シミュレーションへの期待が高まっている。セミナーでは、コミュニティー・ゾーン社会実験において、住宅地を通過する車両を迂回させることについて、住民を交えた合意形成のために道路交通シミュレーションを活用した事例を紹介する。



お問い合わせは...

株式会社アイ・トランスポート・ラボ

東京都新宿区揚場町 2-12-404

Tel/Fax: 03-5261-3077 E-mail: itl@i-transportlab.jp